

時の鐘

Traum trio
トラウム三重奏団 結成記念

第一回 定期演奏会

Traum trio

トラウム三重奏団

ヴァイオリン 長岡聡季

ピアノ 佐々木崇

チェロ 森山涼介

フェリックス・メンデルスゾーン・バルトルディ (1809-1847)

ピアノ三重奏曲 第2番 ハ短調 作品66

Felix Mendelssohn Bartholdy: Klaviertorio Nr.2 c-moll op.66

ローベルト・シューマン (1810-1856)

ピアノ三重奏曲 第1番 ニ短調 作品63

Robert Schumann: Klaviertorio Nr.1 d-moll op.63

2025 II.16 | 日 | 13:30 開場
14:00 開演
ウェスタ川越リハーサル室
(小ホール)

全自由席 一般 3,500円 学生 1,000円

チケット販売開始 ▶ 2025年8月16日

■チケット取り扱い

ウェスタ川越 総合案内 窓口案内 9:00~19:00 (窓口販売のみ)

佐々木崇オフィシャルウェブサイト <http://sasakitakashi.jp>

川越市やまぶき会館 049-222-4678

川越南文化会館ジョイフル 049-248-4115

川越西文化会館メルト 049-233-6711

NPO法人Peaceやまぶき 049-265-4631 (平日10:00~16:00)

カンフェティ http://confetti-web.com/@sasakitakashi_tickets

■お問い合わせ

Musik Wald コンサート企画 049-248-7863 contact@sasakitakashi.jp

主催: Musik Wald コンサート企画

後援: 川越市 (公財) 川越市施設管理公社 NPO法人Peaceやまぶき

(公社) 日本演奏連盟 (一社) 日本クラシック音楽協会



チケットのお求めは
こちらから



長岡 聡季



森山 涼介



佐々木 崇

Traum trio トラウム三重奏団

2018年より毎年秋の川越で珠玉の室内楽コンサートとして活動してきた三人は、今年より時の鐘トラウム三重奏団と命名し、川越を中心に本格的なクラシック音楽を多くの人に届けるために演奏活動を広げていくことになりました。トラウム (Traum) はドイツ語で「夢」や「憧れ」を意味し、これからも聴く人に夢を与え続けたいという想いが込められています。この演奏会は結成記念の第1回定期演奏会となります。

Profile

長岡 聡季 (ヴァイオリン) | Satoki Nagaoka, violin

東京藝術大学音楽学部付属高校、同大学、同大学院修士課程を経て、室内楽科博士後期課程修了。シュベールの室内楽曲の研究により、同大学室内楽科初の博士号 (音楽) 取得。神奈川県に本拠地を置く室内オーケストラ、横浜シンフォニエッタの理事およびコンサートマスターをつとめる他、神奈川県フィルハーモニー管弦楽団、群馬交響楽団、神戸市室内合奏団他、各地のオーケストラにてゲスト・コンサートマスターを務める。

オリジナル楽器奏者としても、バッハ・コレギウム・ジャパン、オーケストラ・リベラ・クラシカ、レ・ボレアーデなど、国内の主要な団体での演奏経験を持つ。2014年にはアルジェリア (アルジェ) にて室内楽公演、また台湾 (台北・台中) にて2度のリサイタルを開催。2015年には横浜シンフォニエッタの韓国公演にコンサートマスターとして参加。2016年にはイタリアで2度の室内楽演奏会に出演するなど、ヴァイオリニストとして国際的に活動している。東京藝術大学音楽学部室内楽科非常勤講師を経て、現在北海道教育大学岩見沢校音楽文化専攻教授。

森山 涼介 (チェロ) | Ryosuke Moriyama, cello

東京藝術大学を経て、同大学院修士課程修了。大学卒業時に、同声会賞を受賞。第8回ピバホールチェロコンクール特別賞 (井上賞) 受賞。豊田市文化振興財団文化新人賞受賞。アフィニス文化財団の海外研修員としてミュンヘンへ留学。現在、東京都交響楽団チェロ奏者。また、Quartet Exploce、ゼフィルス・ピアノ五重奏団、Quartet1906、時の鐘トラウム三重奏団、トリトン晴れた海のオーケストラ、石田組、Super Cellistsのメンバー。その他、東京・春・音楽祭等への出演や、出身地である愛知県豊田市において「とよた・音楽の大河プロジェクト」と題した室内楽公演を企画開催するなど、多岐に渡って活動を行う。

佐々木 崇 (ピアノ) | Takashi Sasaki, piano

埼玉県川越市出身。埼玉県立大宮光陵高校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部に入學。その後、同大学院修士課程を経て、同大学院博士課程に進み、シューマンの初期のピアノ作品の研究で博士号を取得 (2011年)。在学中には東京藝術大学ピアノ科のティーチングアシスタントを務める。

1997年、第5回ヤングアーティストピアノコンクールEグループ金賞をはじめ、同大学在学中には、第3回日本演奏家コンクール大学の部第1位、第12回彩の国埼玉ピアノコンクールF部門銀賞、第6回東京音楽コンクールピアノ部門第3位など数々のコンクールで優勝・入賞を果たす。

各地にてソロリサイタルを開催し、2015年には日本フィルハーモニー交響楽団と共演、いずれもその美しい音色と抒情性を備えた音楽性を高く評価される。2015年年末白寿ホールの主催するコンサート「迫昭嘉の第九vol.1」において師である迫昭嘉氏と共演、好評を博す。また2016年より4年に渡り日フィルのメンバーと共演し室内楽奏者としての研鑽を積む。

2018 - 2024年シューマンの主要なピアノ曲と室内楽すべてを取り上げる全12回の佐々木崇シューマンリサイタルを川越と表参道で開催し好評を得た。川越からクラシック音楽を発信する時の鐘トラウム三重奏団を2025年に結成。元東京藝術大学ピアノ科非常勤講師、ヤングアーティストミュージックアカデミー講師。

アルバム「佐々木崇プレイズシューマン」(DLTS0001)「佐々木崇プレイズショパン」(DLTS0002)「R.シューマン交響の練習曲」(KKT0001) 好評発売中。

佐々木崇 オフィシャルウェブサイト <http://sasakitakashi.jp>

▶ ピアニスト佐々木崇公式YouTubeチャンネル →



●アルバム好評発売中



シューマン 交響的練習曲 作品13 アラベスク 花の曲 他

ピアニストとして活躍する佐々木崇が強くシューマン・アルバム第2弾。《交響的練習曲》では通常「1837年版」と「1852年版」の他に「遺作5曲」を任意に入れて演奏されることが多いですが、このCDでは佐々木崇自身が独自に構成した版により《交響的練習曲》に新たな光を当てています。美しい音色と繊細なニュアンスで聴き手を惹きつける佐々木崇のシューマン・アルバムがここに完成しました。
KKT0001 2,500円 (税込)



ヴァイオリン・ソナタ 第1番 & 第2番

おとぎの絵本 SCHUMANN

ヴァイオリン: 長岡聡季 ピアノ: 佐々木崇

オリジナル楽器、モダン楽器の双方で活躍する長岡聡季によるシューマン作品集。シューマンの主要なピアノ曲と室内楽すべてを取り上げるシューマン・リサイタルを継続中の佐々木崇とともに、響きの光と闇りを丹念に描き出す。
ALCD-9229 3,080円 (税込)



ジャン＝マリー・ルククレール 2つのヴァイオリンのためのソナタ 作品3 (全6曲)

ヴァイオリン: 長岡聡季 長岡秀子

母の秀子はさまざまなアンサンブルのリーダーを務めてきたベテラン。息子の聡季はモダンと古楽の両方をまとい、母と同様の活動をしている若手。彼が幼いころから組んでいたデュオは、まさに阿吽の呼吸。恐ろしいほどの密度の高さから生まれてくるのは、デュオの喜びそのもの。(CDジャーナルより)
ALCD-9115 2,500円 (税込)



Quartet Exploce カルテット・エクスプローチェ

～響炎する4本のチェロ～

森山涼介・市寛也・高木慶太・辻本玲

日本を代表するオーケストラの若手奏者4人からなるチェロ四重奏団Quartet Exploceの初CD。最高のアンサンブル能力とオリジナリティを追求したアグレッシブな選曲で、低音の魅力を余すところなく伝えます。
KICC-1272 3,000円 (税別)

Access



ウェスタ川越リハール室 (小ホール)

<http://www.westa-kawagoe.jp>

埼玉県川越市新宿町1-17-17

- JR川越線・東武東上線「川越駅」西口より徒歩5分
- 西武新宿線「本川越駅」より徒歩15分
- 本川越駅より西武バス 乗り場 ①番
- *新所02・本55 系統「川越駅西口」下車 徒歩5分
- *本53・本54 系統「ウェスタ川越前」下車すぐ
- 本川越駅より西武バス 乗り場 ②番
- *川越35・川越35-1 系統「ウェスタ川越前」下車すぐ